



明治大学 校友会

MEIJI
UNIVERSITY

福岡市地域支部だより

明治大学校友会福岡市地域支部事務局

〒815-0063 福岡市南区柳河内1-9-29-1F

(株)伸正 内

TEL 092-553-0506

風のふくおか

42号

2019年1月

謹賀新年



皇居から見えるリパティタワー



和泉キャンパス



生田キャンパス



中野キャンパス

支部長ご挨拶

校友の皆様にかかれましては穏やかに新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

昨年2018年も色々な校友会活動がありました。「福岡市地域支部新年交礼会」「全国支部長・幹事長・本部員会議」「福岡県支部総会」「第67回駿台ゴルフ会」「代議員総会」「福岡市地域支部総会」「全国校友石川大会」「韓国支部総会」「東京6大学福岡OB会ゴルフ会」「台湾支部総会」そして「南の会」「西の会」「東の会」。それぞれ多くの校友の方々との交流が出来ました。有り難うございました。

今年は年号が平成から変わります。昨年は明治150年でした。「明治」と言う元号を校名にいただくことは大変素晴らしい事であり誇りでもあります。

東京6大学福岡OB会ゴルフ会は昨年22回目を迎えました。このゴルフ会に関わりまして各大学は母校愛や校風がそれぞれに違うのだな思いました。明治は個を大切にしながら横の繋がりを大事にする校風ですが、これからもこの伝統を保ち続けたいものです。

校友会活動は強制されるものではありませんので個々の考え方で校友会と接していただければと思っています。私は大学で学業のみならず人生の処し方について大いに学び様々な事に大きな影響を受け、卒業後も何かと母校と縁があり色々な恩恵を受けていると思っています。母校が学問やスポーツ等の様々な分野で活躍・発展して高い評価を受ければ卒業生として大なる誇りだと思っています。少しでも母校発展・繁栄にお手伝いが出来ればと思っています。

大学の運営や発展には多くの資金が必要です。大学の努力だけではなかなか賄えるものではないと思っています。我々卒業生の資金的支援も必要だと思っています。大きな寄附金額は言うまでありませんが、寄附をする校友の数が多く母校に関心を寄せる校友が多くなることも大いに必要かと思っています。寄附の種類は下記に記載しているように多数あります。是非そのどれかにご協力をいただきたいと思います。



福岡市地域支部
支部長 矢谷 学

す。参考までに他大学の寄附状況も掲載しておきます。

また校友会は終身会費が活動の基礎となっています。2008年（平成20年）3月卒業生から終身会費が予納制になっています。それ以前の卒業の方はご自身の納入状況を確認していただき、未納であれば是非納入にご協力をお願いします。現在の終身会費は3万円です。ちなみに校友統計によりますと納入者比率は全国平均59.4%、福岡県支部は63.4%で全国12位であります。2007年以前の納入者比率は全国平均49.93%、福岡県支部は56.05%で全国14位であります。納入済か未納かお分かりでない方は福岡市地域支部矢谷か鈴木幹事長に問合せをしていただければ調べてお答えします。校友会HPにも納入の方法は明記されています。是非ご協力をお願い致します。

本年は新しい年号の時代が始まります。今年も皆様健やかにお過ごしいただき楽しい校友会活動にご協力をよろしくお願い申し上げます。

他大学寄附金状況

2018年9月29日 理事長講演資料より抜粋

大学	2015年度	2016年度	2017年度
慶應	80.5億円	87.4億円	63.3億円
早稲田	36.3億円	31.0億円	33.0億円
法政	6.3億円	4.3億円	7.2億円
中央	2.8億円	2.8億円	3.4億円
明治	4.8億円	4.5億円	5.8億円

各大学HP上の資金収支計算書（寄付金収入）より作成

・募金（寄付）の一覧について

支部総会などで資料をお配りさせていただいているのは、以下の2つの募金です。

1. 明治大学校友会教育・研究振興資金

校友会への募金となりますが、奨学金などの学生支援事業の原資となります。

2. 明治大学未来サポーター募金

「奨学」「国際化」「研究」「スポーツ」「キャンパス整備」

の5つのテーマから使い道を指定できる寄付制度です。

ゴルフの総合練習場

花畑ゴルフセンター

代表取締役社長 光安 力
(昭和48年 政治経済学部卒)

福岡市南区柏原4丁目39-34

TEL092-566-5111

来年も応援に行きます



明治大学福岡県父母会
会長：八尋 正記

福岡市地域支部総会



穏やかな初秋の9月1日（土）、福岡市地域支部総会がタカクラホテルで行われました。



矢谷支部長ご挨拶の後、佐藤 財務幹事より会計報告、女賀 新会計幹事より予算案の発表が滞りなく行われました。

佐々木県支部長のご挨拶、絹笠 県名誉支部長の乾杯ご発声により懇親会がスタートしました。今回も夏休みを利用して女子学生（情コミ1年 筑紫丘高校卒）も参加し、会を盛り上げました。

ゴルフの案内、PRタイム、新人校友紹介と続き、恒例の抽選会タイムとなり、多くの校友で歓談を楽しみまし

た。今回初参加の和田 侑也校友（九州朝日放送アナウンサー）は平成30年 商学部卒で、もしかすると平成最後の新入会校友となるかもしれません。抽選会では九州朝日放送の先輩の逸見校友とともにテンポの良い司会ぶりで盛り上げました。



最後に、津島校友のリードのもと、校歌斉唱、エール三唱を行い、次回の新年会での再会を約束し福岡市支部総会・懇親会は散会となりました。ご多忙のなか、ご参加いただきましたご来賓の方々、並びに校友の皆様、景品を提供していただいた校友の皆様、本当にありがとうございました。

全国校友石川大会に参加

●●● Topic

第54回全国校友石川大会に参加しました。私は1986年第24回福岡大会に初めて参加して今回で25回目の参加となりました。石川県は既に訪問された方が多いのか、福岡県支部からの参加者は7名（佐々木支部長・長谷川先輩・山崎御夫妻・森田先輩・高橋君）のみでした。出発当日9月29日は台風24号が接近し飛行機が飛ばす心配でしたが無事に小松空港に到着しました。今回は支部長・幹事長・地域支部支部長・本部員との懇談会と前夜祭があった為に記念式典の前日から金沢に入りました。この懇談会がある為に皆さんと一緒にツアーが組みにくいのが難点です。懇談会の後、柳谷理事長から大学の現状を聞く事が出来ましたが、この様な話は県支部総会等で多くの校友に話していただきたいものだと思います。30日は台風の影響は少なく無事に記念式典・記念講演・懇親会が開かれました。懇親会の幕開けは華やかな金沢芸者衆の総勢20名の「素囃子」でした。芸処「金沢」らしい演出でしたがこれには随分経費がかかったのではと心配が先に経ちました。懇親会会場は少々手狭でゆっくり懇談が出来なかったことと、料理に郷土色が少なかったのは残念でした。終了後2次会で街へと期待したのですが台風の影響で飲食店の多くが早

く店仕舞いで、軽く飲む程度でした。しかし駅のコンビニに寄ると石川の銘酒「加賀鷺」「立山」等々のワンカップが多数置いてありホテルの部屋で一人楽しみました。1日の帰福便は最終便を予約していたのでどの様に時間を過ごすかと思い、取り敢えず地図もなく兼六園まで歩いて行きました。兼六園で福島県支部の皆さんとお会いし一緒に園内を見て回りました。その後は福島県支部の応援団OB菅野さんと歩いて駅まで散策しながら戻り「近江町市場」で金沢名物のおでんで、またまた一杯を楽しみました。散策中に明大のバッジを付けてある校友と出会うとお互いに会釈を交わしました。名前も所属支部も知らなくても親近感を覚えるのは全国大会の旅ならではの思い出です。台風は通過していましたが仙台から来る便が吹き戻しの影響が大幅に遅れ、少々時間を持て余しましたがなんとか無事に福岡に帰りました。

2019年は千葉県で開催されます。都市型の大会になりそうで大人数が一緒に行動する様なツアーは組めないかもしれませんが是非参加していただきたいと思います。

(S50法卒 矢谷 学)



株式会社 ホンダパーツ西南

Hondaの部品・用品の卸・販売会社

取締役会長 佐々木 義宣(昭和37年文学部卒・柔道部OB)

本社 〒816-0092 福岡県福岡市博多区東那珂3-2-12
TEL 092-433-0433

営業所 福岡・北九州・大分・佐賀・香川・徳島・愛媛・高知

10月20日芥屋ゴルフ倶楽部で第22回東京六大学福岡OBゴルフ会が開催されました。今年は我らの明治大学が幹事校ということで我が校から31名の校友が参加し、総勢118名の大会を開催することができました。上記のとおり会場はあのKBCオーガスタが開かれる芥屋ゴルフ倶楽部ということで私も観戦に行ったことはあったもののプレーするのは初めてということでワクワクしました。



コースは綺麗だったのですがグリーンは難しく、非常に苦戦しましたが、普段であれば中々関わることのない他大学の諸先輩と楽しくラウンドをまわることができました。

夜の懇親会はお馴染み八仙閣で行われました。美味しい料理を食べながら皆さんと今日のゴルフを振り返り、楽しい時間を過ごすことができました。そして、お待ちかねの成績発表。各校順番に呼ばれていき、残り



は明治大学と東京大学。これは明治大学が連覇かと期待しましたが残念ながら準優勝で優勝は東京大学でした。

2019年は法政大学が幹事校で開催予定です。今度は優勝して勝利の美酒を飲みましょう。

(H27政経卒 安心院 将平)

韓国同窓会に参加して

今年の韓国支部総会（同窓会）は10月13日、ソウル市内の賀琳覺（AWコンベンションセンター）という所で開催された。福岡県からは佐々木支部長、矢谷幹事長そして徐々に絹笠名誉



会場写真

支部長も出席され、総勢18名で韓国の皆さんとの交友を温めた。また大学側からは向殿校友会会長、土屋学長、中村理事それに父母会から今村会長さらには福島県支部からも出席があった。

総会では、厳支部長の迫力のある挨拶を聞いた後、「明治は一つ！」と全員で唱えた。また、向殿会長は校友会の輪は世界に広がっていると話され、土屋学長は留学生の受入日本語能力試験では、これまで明治は早稲田より厳しくしてきたが、今後は少し緩めたいと話された。そして懇親会に先立ち厳支部長の奥様の洪潤玉さんが、日本の「浜辺の歌」と韓国の「同心草」（メロディーのきれいな曲だった）という歌をピアノ伴奏で歌われ、佐々木支部長の乾杯の音頭で懇親会に入った。

韓国支部は昨年父母会が発足して、日本の父母会や福岡

の卒業生とも親密に交流を重ねている。そのせいか今年は父母の方々もずいぶん多かった。厳支部長や尹(ユン)幹事長は、大学の支部長会等で上京された時には留学した学生らを呼んで食事をされるなど、後進の学生達を大事にされているなあと感じた。



集合場所の光化門の前で

翌日は厳支部長のご招待で、北村韓屋村近くの店で韓国料理をご馳走になった。



景福宮の横の色づき始めた街路樹の通り

私達は景福宮の光化門前に集合して現地に歩いて向かったが、木々の葉が少し色づいたこの時期、街並みを歩くのもいいものだなあと皆さんと話しながら歩いた。

今年は台風が多かったのでスケジュールが心配されたが、澄んだ空気の爽やかな秋のソウルを楽しむことができた。

(S52法卒 本田 博志)

**福岡市地域支部の
ご発展を祈念いたします。**

株式会社善設計事務所

(昭和50年 工学部建築学科卒)
代表取締役社長 善 敏治
福岡市南区大橋1-18-24-202

創業昭和31年  土地の仲介斡旋

宅地建物取引業免許・福岡県知事(15)第1330号

日興開発株式會社

〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目10番1号

代表取締役 伊藤 文武 (昭和32年 法学部卒)

台湾支部総会



11月3日、台湾支部総会が開催され、福岡県支部から13名が参加しました。

「風のふくおか」に載せる記事を書くよう依頼を受けたのですが、帰国して西の会に出席した後、直ぐに東北視察に出たので、いま青森の宿でこの原稿を書いています。

3日朝8時半、中華航空に搭乗するため福岡空港に集まったのは卒業会の日浅さん、井野さんと私の家族3名（昨年より海外支部総会には夫婦で参加しているが、今年は娘まで付いてきた）の計5名だけでした。

他の参加者は、前日から台北入りしているグループや、他の航空会社を利用するとの事。

台湾支部と交流を始めた当初は、福岡空港で結団式を行い、帰国後は反省会も行うなど県支部として団体行動していた時代を思うと隔絶の感じがします。

きっと参加者が皆海外旅行慣れてきて、自分で自由な旅程を組めるようになったのだと改めて感じています。

今年の台湾支部総会は台北101ビルの86階にある「頂鮮101美食美景餐厅」で開催されました。たしか、葉前支部長から現在の頼支部長に代わられた時の就任パーティが此处で開かれたので、二度目の高層ビルから夜景を眺めながらの会食となります。

16時半に現地集合と約束していたので、各々タクシーやMRT（地下鉄）で台北101に移動、総会会場で初めて福岡県支部13名全員が揃いました。

受付で台湾支部の鍾幹事長に挨拶すると、いきなり「佐藤さん、今日『応援団』来ていますよ」との一言。

これには訳があり、10月の韓国支部総会には応援団が来ておらず、詩吟部の私が、最後の校歌斉唱の指揮を執る事になってしまいました。土屋学長も臨席されている場で校歌指揮を間違っただけで、ろくに酒も飲めなかったため、ソウルで別れ際に鍾幹事長に「11月の台湾支部総会には必ず応援団を呼んでおいてくれ」と頼んでいた為の第一声でした。

席に着き来賓名簿に目を通すと、応援団の廣野先輩（S51年卒：品川区地域支部長）の名前があり一安心。応援団とは毎年、代議員総会の後に応援団の二次会に加わっており廣野先輩とも何度も酒を酌み交わした仲なので、早速挨拶に。

廣野先輩から、今日参加の応援団は自分一人なので校歌の歌い出し要員がない。「佐藤さん、私の指揮に合わせ『おお明治』の歌い出しをお願いします」との事。その程度なら酔っぱらっても出来ると快諾（しかし紹興酒に酔い痴れてしまい、最後の校歌が随分と高い声の出だしとなってしまいました、皆様すみませんでした）。

総会では来賓の挨拶が続きましたがその中で、校友会本部の齋藤副会長が「今年9月に王 育徳 教授の記念館が台南にできた」事を紹介し、王 育徳 教授との交流のエピソードを話されました。

『王 育徳 教授』懐かしい名に、思わず記憶は45年前の明治大学入学時に。

商学部商学科1年15組（第二外語：中国語クラス）の中国語教授が王 育徳 教授でした。東京大学を卒業した頭脳明晰、物静かな紳士で、九州の田舎から東京に来て私が初めて出会ったインテリ・文化人でした。齋藤副会長は「友人の為にカンニングをした学生にまで単位を与えた」、学生に優しい教授だったと語っておられましたが、私は中国語の単位を取るのに本当に苦労しました。

王教授の授業の出席は中国語（因みに私の名前は中国語で「ツウオタン ヤン」）で取っていました。聞き耳を立てているが巻舌早口の中国語を聞き取るのは至難の業。幸いなことに私の出席番号の次は「白拍子（中国語で『パイパイツイ』、解り易い3文字発音）」という雅な名前の同級生でした。「パイパイツイ」と聞き取れたら、すかさず「ツウオタン タオ（佐藤 出席）」と返事して毎授業事なきを得ていました。

また文語体的重厚な語り口での講義で、ある日同級生がうっかり「筆筭が1つ」と答えてしまい王教授から「君はそれでも日本人か！！」と教養の乏しさを叱責されなんて事も度々でした、45年経った今でも鮮やかに思い出します。よく王教授の授業で「良」が取れたものだと。（王 育徳 教授が台湾独立運動の知名士であったことは、大学



藤栄電気工事株式会社

代表取締役 藤瀬 浩幸
(昭和60年 経営学部卒)

〒810-0001 福岡市中央区天神5丁目5番5-1号

TEL092-721-5155

天神渡辺通り法律事務所 TENJIN-WATANABEDORI LAW OFFICE

福岡県弁護士会所属

代表弁護士 楠田 宏
(平成3年 法学部卒)

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通3-6-15 NMF天神南ビル8階
(天神バスセンターより徒歩5分)

TEL 092-741-2833 <http://watanabedori-law.com/>

【取扱業務】

法人顧問業務 ● 交通事故 ● 相続・遺言 ● その他民事事件

卒業後に知りました)

懇親会では楽しく飲み酔いました。私のテーブルは福島県支部の会津地域支部の戸川支部長と安部さん、台湾支部の洪朝泓 校友親子(息子さんは徴兵でもう直ぐ軍隊に入るとの事)等多士済々。妻と娘は安部さんと女性同士打ち解けて楽しく食事をしていました。

余興も数多く用意され、中国式の獅子舞は賑やかで会場を楽しませました、獅子が耳や尻尾を動かすのが「可愛い」と女性陣に受けていました。

また抽選会も豪華な商品が並び、その中でも「現金」が商品となっているのが台湾らしいと毎回感じるところです。私たちのテーブルからは私を含め4名が抽選に当たりました。特に最高額の「現金」は軍隊に入る洪さんの息子が引き当て大きな拍手を浴びていました。

来賓の中に「北海道大学」から4名参加していたので、



事情を聴くと台湾から北大に留学している学生と仲間達だとの事でした。

また「マニラ紫紺会」からも3名参加していたので、フィリピンの治安状況を知るため話をしました。(実は今年、英会話の勉強のためフィリピンに行こうと思っていたのですが、仕事が断続的に入り行けずにいたもので…)

すると、マニラ紫紺会のうち2名(金光氏、風間氏)は、なんとマニラで日本人向けの英会話学校事業を行っているとの事、「明大価格での短期留学を世話してくれる」と言う。

縁とは奇なもので、来年は明大価格でフィリピンに足を運ぶことになりそうです。

楽しかった懇親会も校歌斉唱で閉会となり、三々五々帰途に就き始めました。

台湾が初めてだった娘は豪華な中華料理と101高層階からの夜景が気に入り上機嫌、この分では来年も親子3名で台湾に来ることになりそう・・・

毎年、1ヶ月、2か月と家を空け東南アジアを放浪一人旅している私としては、「罪滅ぼしとして家族孝行するのも悪くない」、そんなことを思いながら総会会場を後にし、下りのエレベーターに乗り込みました。

(S52商卒 佐藤 洋)

春日野部屋応援幟の紹介

●●● Topic



去る9月の福岡市地域支部総会において、福岡地域支部上杉校友・大牟田地域支部西山副幹事長からございました、春日野部屋応援幟カンパのおかげで、「明治大学校友会福岡県支部有志一同」と描かれた、写真のような立派な幟が、東区の春日野部屋合宿所でなびいておりました。皆さまご存知の通り、春日野部屋親方は、明治大学の校友で、元栃乃和歌関でございます。2019年の九州場所も校友揃って、春日野部屋の応援に行きましょう。

第15回南の会 開催日のお知らせ

●●● Topic

日時：平成31年3月16日(土曜日)午後6時から

場所：西鉄大橋駅西口徒歩1分

「田すずめ」同じ場所 「花 HANA」

福岡市南区大橋1丁目15-16

TEL 092-710-1487

会費：4500円

お問い合わせ先：南の会事務局

女賀 信治(平成9年商卒)

TEL.090-4838-1694

shinji_mega@sonylife.co.jp

までお願いします。



代表取締役
松山 孝義
(昭和60年 法学部卒)



松山建設株式会社
〒810-0011 福岡市中央区高砂2-24-23
TEL 092-533-0001(代表)



明治大学校友会福岡県支部幹事

代表取締役 **津島 潔**
(応援団 昭和61年卒)

本社：田川市・飯塚市/嘉麻市

<http://www.tsushima-fuk.com>

明治大学の土屋恵一郎学長が、朝日新聞社が発行している「週刊アエラ」の“現代の肖像”というコーナーで、～能のプロデューサーという別の顔を持つ型破りな学長は、今も明治大学を変え続けている～と紹介されました。大変興味をそそる内容でしたので、ここで土屋学長の了解のもと、一部ではありますが抜粋してご紹介させていただきます。



週刊アエラの“現代の肖像”での土屋学長

①大学の改革——世界の大学に対抗できる大学

現在、明治大学は志願者数で12年連続10万人を超えるなど、高校生から一、二を争う人気大学になっている。だが一時期、志願者が7万人台まで落ち込んだことがあった。ここから新学部の設置、新たな入試の仕組みづくり、新キャンパス開設、広報改革など矢継ぎ早に新しい取り組みに挑み、ブランドイメージを変えてきた。その一連の改革に深く関わっていたのが、土屋恵一郎学長である。

国際日本学部（日本を世界に発信する）、総合数理学部（日本で唯一の現象数理学に特化）の創設や、北京やフィリピンやラテンアメリカなどでシンポジウムを開いたり、

トレーニングセンターを作ったりしている。目指すは、アジアナンバーワンの大学にすること。

②もう一つの顔。

しかし、土屋学長にはもう一つの顔がある。能のプロデューサーである。20代後半、観世寿夫（かんぜひさお）の能に魅了される。人生で一番のめり込んだ。「公演があるたび見に行きました。とにかく毎回、圧倒されていました」この頃から能に関わるようになり、「橋の会」という能の会の民間団体を立ち上げる。年3回の公演で毎回600人を集めるのは大変だったようで、当初はボーナスをすべてつぎ込んでいた。お稽古事になってしまっていた芸術を、本当の意味で浮上させると思っていた。「能は日本の芸術のトップ。だからどんなものとも触れ合える。能楽師でなくてもプロデューサーだからそれができた。海外公演でも借金を作ったが、結局好きだったから。それだけです」と話す。そして、水俣病の悲劇を描いた「苦海浄土」の石牟礼道子が能を作りたいという話を聞き、人間国宝や家元など各流派のトップを集め、新作能「不知火」を公演し各地で大きな話題を呼んだ。さらには当時、水俣では水俣病を語るのはタブーだった中で、水俣での公演を見事に実現させた。このプロデューサーとして培った能力が、やがて大胆な大学の改革に生かされていく。

③家に学ぶ環境はなく学校教育が救ってくれた。

一般に大学の教師、ましてや学長になるほどの家庭は、さぞかし教育に熱心だったろうと思われるが、土屋学長の父親は小料理屋を営む板前、母親は壁塗り職人の娘さんだったそうだ。家には学ぶ環境はなかったが、救ってくれたのは戦後の学校教育だった。終戦間もない当時の教員たちは教育に対して熱意に溢れていて、小学校・中学校とも女性の先生に読書の楽しさを教えてもらった。高校を卒業したら板前になるつもりだったが母親が猛烈に反対して明治大学法学部に入学。だが、たまたま入ったサークルが学生運動の中心的存在のサークルで、1年の夏から完全に学生運動家になり授業にはいかずピラを刷り、配り、看板を作るために学校に行った。だが、3年で活動を離れた。こ

おかげさまで100周年

これからの新しい時代を支え、たくさんの笑顔を生む

「地域社会を支える総合建設グループ」として、

まっすぐと歩み続けていきます。



株式会社 松本組 代表取締役社長 松本 優三（昭和56年 商学部卒）

[本社] 〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目1番19号

TEL:092-651-1031 FAX:092-631-0362

松本組

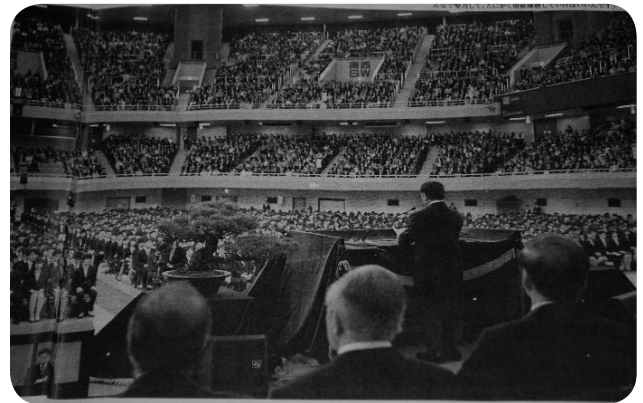
れで世の中が変わるわけがないと思い始めたからだ。大学院進学を決めたのは本がゆっくり読めると思ったから。大学院ではドイツ語を学び、ドイツ哲学者の大井正先生に師事、これが厳しくて徹底的に絞られたそうだが、お蔭で1年でドイツ語が完璧に読めるようになったとの事。

④書くことを若い頃から愛した。

「準備をして、さあ書けるぞと思ったら震えるんですよ。身体中が興奮して」というほど、書くことが好き。若い時から哲学、歴史、翻訳小説など本はむさぼり読んだ。日本文学では文体が美しかったからと谷崎潤一郎と森鷗外を好んだ。中でも吉田健一の文体には惚れこんだそう。書く楽しみを知ったのはこの頃。

一方で読書、書くことと並んで傾倒したのがクラシック音楽で、グレン・グールドや小澤征爾がアイドルだったとの事。クラシック音楽が日常的に流れる家庭に育ったわけではないので、芸術をかぎ分ける天性の感覚があったのだろう。

土屋学長は4月の入学式の学長訓示でW・H・オーデンの詩を引用して学生たちに檄を飛ばした。「見る前に跳べ」と。人間の中身なんてものはほぼ空。だから満たしてくれるものがあるなら突き進めばいい！これが私の人間観ですと話される。



“見る前に跳べ” 入学式で

初めての海外旅行

●●● Topic

大学2年、1979年（昭和54年）の話です。ソニーのウォークマンが流行り、イヤホンをしてキャンパスを歩く明大生がたくさんいました。授業の合間は喫茶店でインベダーをするかマージャンをしてみました。



海外旅行といえば、前年の1978年に成田空港が開港しましたが、日本人の年間海外旅行者はまだほんの400万人程度でした。ちなみに2017年は1788万人。今と違い海外の情報を得る方法は、専らテレビか映画でした。

日曜日の朝の定番は「兼高かおる世界の旅」。紀行番組の金字塔で、『PAN AM』の機体が飛んでいく姿をみて海外に想いを馳せていました。「ロッキー」「アニーホール」「クレーマー・クレーマー」「タクシードライバー」といった映画もアメリカへの想いを掻き立ててくれました。

そんなときに書店で目にしたのが小田実の『何でもみてやろう（1979年）』という書籍です。

—ひとつ、アメリカへ行ってやろう、と私は思った。3年前の秋のことである。理由はすごく簡単であった。私はアメリカを見たくだったのである。要するに、ただそれだけのことであった。—



地球の歩き方
（初版本 1979年）

この書き出しの一文を読んで、私はアメリカに行くという一大決心をしました。

後期の授業が始まり、ある日和泉校舎に行くと、「アメリカを1ヶ月以上の期間、1日3000円以内でホテルなどの予約なしでバスを使って旅してみないか！」と書かれたチラシが教室に配られていました。「地球の歩き方」を出版

土木・建築資材販売



卒業会会長 日浅 晴美

〒811-1255 福岡県筑紫郡那珂川町恵子1-35

TEL 092-952-7500(代) FAX 092-953-3113

<http://www.hiasashoji.com/>

博多駅より徒歩2分!
Wi-Fi全館完備!

立地最高

ホームページよりお得な宿泊プラン予約が可能になりました!!

サンビジネスホテル

福岡県福岡市博多区博多駅前2-16-16

TEL 092-411-1155

しているダイヤモンドシュudentツアー（DST）の自由旅行です。数日後、チラシを手にして霞が関にあるダイヤモンド社の旅行説明会に向かいました。会場には大きなスクリーンがあって、カーペンターズの「Top of the World」とともに夏の自由旅行に参加した学生たちの楽しそうな映像が流れていました。会場にはたくさんの学生が集まっています。すごい熱気に溢れていたことを覚えています。

「学生時代に長い時間、一人きりで旅を続けること自体に大きな意味がある」といったような話があったことを記憶していて、その言葉がやけに小田実の一文と重なったことを今でも覚えています。振り返ってみると、当時は自分の中にある何かを求めながらあるいは自分の成長を信じて旅立つという雰囲気があったように思います。

説明会で配られたアメリカの白地図を持ち帰り、この年創刊されたばかりの「地球の歩き方」（写真は創刊号のアメリカ編）を見て全米一周の旅行計画を立てました。

アメリカに旅立ったのは、翌年1980年（昭和55年）の春休みです。2月27日から4月2日まで35日間の旅でした。申し込んだのは、往復の航空券と最初の目的地サンフランシスコのホテルが2泊、約1か月間の自由旅行のあとの再集合地ロサンゼルスとハワイのホテルがそれぞれ2泊と3泊付いたツアーでした。1か月間の自由旅行は今で



ニューヨーク発サンフランシスコ行の
グレイハウンドバス

いうバッグパッカーの走りだったと思います。

移動は、専らグレイハウンドバスのアメリカパスを活用しました。サンフランシスコでツアーの仲間達と別れたあとは、反時計回りに

サクラメント→サンディエゴ→グランドキャニオン→モニュメントバレー→エルパソ→サンアントニオ→ニューオリンズ→アトランタ→ワシントン→ニューヨーク→サクラメント→ロサンゼルスと周りまし

た。

お金のない貧乏旅行でしたので、ホテル代わりに夜行バスで移動し、朝目的地に着いたらすぐにその日の安宿を見つけるという旅でした。



初めて借りたレンタカー
（ムスタング）

最も印象に残っているのは、レンタカーを借りて行ったグランドキャニオンとモニュメントバレー。それに、ニューヨーク。日本にはない雄大さに感動し、映画のシーンの中に引き込まれたような気持ちになりました。当時20歳の若者にはこれ以上ない刺激を与えてくれた旅でした。

あれから40年が経ち昨年10月に還暦を迎えました。50歳を迎えた頃から再びアメリカへの想いが湧きあがり、それから毎年レンタカーを借りて夫婦で全米を周遊するようになりました。60歳までにアメリカ50州の州都をレンタカーで訪問することと、MLB30チームの本拠地で野球観戦をすることを目標に掲げましたが、思った以上にアメリカは広くまだ34州と27球場の訪問にとどまっています。



ジョージア州議事堂
カーター大統領肖像画の前で

還暦を機に、事務所の経営を若い人に任せるようにしたので、随分と時間がとれるようになりました。近いうちに目標を達成したいと思い、日々アメリカの地図を眺めているこの頃です。

（S57政経卒 林 弘己）

SNACK **Viva Zone** (ビバ・ゾーン)

明大校友会 御用達の店
(明大割引ございますので 申し出ください)

〒810-0002 福岡市中央区西中洲2-15 プラネットビル205
TEL.092-725-8323
29年10月2日より新店にて営業中です

「福岡市地域支部だより」43・44号 広告協賛のお願い

福岡市地域支部の支部便り「風のふくおか」は、年2回発行して、各種の情報提供を行っております。

つきましては、ご自身の企業広告や、広告にご協力いただけます企業のご紹介をお願い致します。広告にご協力いただきました企業でご希望の方は、ホームページへのバナー掲載も致します。

発行部数や広告料金は、下記をご参照ください。また、2号連続掲載での広告掲載となります。

編集部

- 1.発行日 2019年7月と2019年12月の2回
- 2.発行部数 1,400部(支部校友会会員・父母会・県内他支部・校友会本部)
- 3.広告スペース及び広告料金(夏・冬2号)
(1)1/4ページ(天地70mm×左右185mm)・・・2回掲載で40,000円(税込)
(2)1/8ページ(天地70mm×左右92.5mm)・・・2回掲載で20,000円(税込)

お申込みや
お問い合わせは…

福岡市地域支部事務局
TEL092-553-0506 FAX092-512-6511

編集委員長 石迫 弘久



県内の地域支部のニュース

県内地域支部のニュースをご紹介します。

● ● ● Topic

大牟田地域支部

先の、みやま市の市長選挙に、大牟田地域支部校友の松嶋盛人氏が立候補し見事に当選されました。皆様へお礼を兼ねてのご報告のコメントを頂きましたので以下ご紹介いたします。



「変化」から「進化」へ

——みやま市市長・松嶋 盛人 (S53農卒)

みやま市においては前市長が健康上の事由で離職し10月21日告示、投票日28日で市長選が実施されました。私は八女女学院中学の教頭職にありましたが、40年程の教職の中で、教え子たちがその故郷に安住出来ていない現実に自問自答を繰り返してしていました。そして間もなく定年を迎える小学校教諭の妻もまた同様の事を考えていたようです。以前から話がありましたが、9月26日に地元の有力者の方々に背中を押されて出馬を決意いたしました。前市長は後継者指名を副市長としており、また市議会議長をも支持する中で大方敗れると各紙も報じた無謀ともいえる挑戦でした。

ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、私は「小笠原流流鏑馬」を嗜んでおり、三本の矢——「天の利」「地の利」「人の利」をスローガンに、みやま市の再生と新生を訴え、草の根選挙を戦い、僅か224票の差で新市長を見事勝ち取りました。この選挙戦では明大校友会の有志の皆

様の厚く強いご支援を頂きました。

みやま市は瀬高町・高田町・山川町が合併しまだ若い「市」ですが、自然に恵まれ、インフラは整備され

当	8,770	松嶋 盛人	65	無新
	8,546	高野 道生	73	無新
	2,023	野田 力	77	無新

(選挙結果)

住み心地の良い所です。ここに柔軟な発想力に富んだ人材（人材）を登用し、産業の誘致を勧めながら、美しいベッドタウンとして変化させながらさらに進化させていくのが私の信条になりました。

近隣には熊本県長洲町の中逸町長もおられ、「長」としての指導を仰ぎながら、市の活性化のための政策協議会を立ち上げるなどして、「ふるさと」の発展にすべてを捧げる所存です。校友の皆様方には深謝するばかりです。これからもご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。本当に温かく力強いご支援、ご協力ありがとうございました。

なお、後援会事務所は以下の所です。

〒835-0002 福岡県みやま市瀬高町小田1820-1
松嶋盛人後援会事務所
TEL0944 (62) 3181、fax0944 (62) 3182

久留米支部

久留米地域支部の今村支部長（昭和51年、工学部卒）が社長を務められるOREC（株式会社オーレック）が創業70周年を迎え、記念式典が10月26日ホテルオークラ福岡で開かれました。今村支部長は久留米支部長として久留米地域支部の活動はもちろん、県支部総会や韓国、台湾の総会にも参加されるなど、明大校友会活動にも積極的に参加されています。そこでこの機会に改めて今村支部長を紹介したく、記事をお願いした所、次の



ような記事を頂きましたのでご紹介させていただきます。

「OREC 創業70周年を祝う」

一自走式草刈機を開発・製造・販売
記念式典に500名の参加一

自走式草刈機メーカーのORECが創業70周年を迎え、10月26日に博多区のホテルオークラ福岡で記念式典を開いた。取引先ら約500人が集まり、同社の事業の成長を祝った。

ORECは1948年、大橋農機製作所として久留米市で創

中華料理

ハッセン閣

CHINESE RESTAURANT
HASSENKAKU

大小宴会承ります

(本店)福岡市博多区博多駅前2丁目7-27

TEL092-411-8000

朝道法律事務所

弁護士 因 史礼

ちなみ ふみのり

(平成7年 法学部卒)

■ ご相談内容

- ・交通事故
- ・刑事事件
- ・債権回収
- ・債務整理
- ・不動産登記
- ・離婚・慰謝料
- ・労働事件
- ・会社登記
- ・相続
- ・その他一般民事

〒812-0013福岡市博多区博多駅前2-17-5アークビル5F

TEL:092-710-6452

FAX:092-710-6453

Mail:chinami@asamichilaw.jp

業し、機械化が進んでいなかった農家の負担軽減を目指し、脱穀機などを手がけた。1974年に果樹園向け草刈機の「オートモアー」を発売し、その後も日本の農業の変化に合わせて畜産向け牧草刈機や稲作、畑作向けのシリーズを展開。1988年にはORECに社名を変更。本社や主力工場を福岡県八女郡広川町に移した。1992年には乗用草刈機ラビットモアー、1993年にはあぜ草刈機ウイングモアー、2001年には斜面草刈機スパイダーモアーと業界初の画期的な製品の開発にいたった。

同社によると、自走式草刈機分野で国内シェア4割を占めるまでになった。

北九州支部

北九州支部からはユニークな経歴の校友を紹介します。

福岡校友会の皆さん。こんにちは。平成13年商学部産業経営学科卒業の岡上聡宏と申します。

昨年の4月から実家のある大阪から福岡県北九州に就職の為、移住しました。現在、北九州のカトリック校である明治学園で宗教科の教員をさせて頂いています。

大学時代は、商学部のゼミナールに加えて、教職課程や社会教育主事課程、学芸員課程などを受講していました。当時、一番印象に残る講義は、現在、「声に出して読みたい日本語」の著者であり、コメンテーターとして活躍している教育学者の齋藤孝先生の「教育原理」と「教育方法」の授業でした。齋藤先生の講義は、毎回のように自分の成長を感じさせてくれるものであり、学校教師の魅力を強く感じさせてくれるものでした。しかし、90年代末は、普通の子どもたちが些細なことでキレル事件が多発した時代でもあり、教壇に立つ勇気がなく、教職課程を途中で断念していました。

卒業後は、教育系出版社の教科書の営業や私立学校の事務職員など、教育現場に携わる仕事をしていました。その傍ら、学校の先生方の様子を見てみると、教職課程を修了していなかったことの心残りを持ち続けていたことから、教職への希望が再燃してきました。再チャレンジを決断した理由として、やはり、明治大学で受講した齋藤孝先生の講義が忘れられなかったことが一番大きな理由だと思えます。

アラフォーからの挑戦でもあったので、自分に個性を付ける必要を強く感じたので、教育実習に向けて、朗読教室

近年は健康食品や植物工場、畜産消臭事業などの新規事業にも参入し、式典で挨拶した今村健二（いまむら たけじ）社長（昭和51年 工学部卒）は「農業機械を中心に食・環境・IT・健康の4つの分野で事業を広げ、製品やサービスを創造し、安心して緑豊かな社会づくりに励むことで、明るい未来創りに貢献していきたい」と語った。



と演劇教室に通いました。母校で行われた教育実習は、卒業年度では私の後輩にあたる先生方も数多くおられ、私のアラフォーからの挑戦を大変面白がってくれました。教育実習では、生徒の前で絵本を朗読する機会もあり、それなりに手ごたえ感を得ることが出来ました。



普通に教職課程の単位を揃えるだけでは、このアラフォーからの挑戦は面白くないと考えたので、演劇教室が主催する演劇の舞台に立つことにしました。演劇教室の先生方も元公立高校の教員を退職された方であったので、私の挑戦を非常に面白がってくれました。人生初の演劇の舞台が終了した日、偶然ですが、教員免許が我が家に届きました。

そのような活動を通じて、自分を変える努力を重ねながら、教師となりました。教師の魅力は生徒の長い人生の一部に携われることでしょうか。今、仕事をしていて、何かしら学校行事などを終えた時、微かながらですが、生徒の大人びた表情に変化することに出会えるのは本当にありがたいことのように思います。

今も教壇に立たせて頂く傍らで、北九州のアマチュア劇団（青春座）にも所属しています。私自身も、人間力の向上を目指して、頑張っています。これからも、宜しくお願いします。

写真：2018年11月公演「シーナ・アイラブユー」

夜のヒットスタジオの司会者である井上順（劇中では井下順）を演じました。



会長 安永 富士男
(昭和30年 商学部卒)

有限会社サンクス
〒811-2302 福岡県糟屋郡粕屋町大隈38-4
TEL092-938-7800
<https://yanagawayaya.co.jp/>



弁護士 高松 康祐
(昭和63年 法学部卒)

〒810-0023 福岡県福岡市中央区警固1丁目12番11号
アーバンスクエア警固6階
TEL092-781-4148

福岡市地域支部

福岡市地域支部からもご紹介です。幹事の女賀校友の2つのニュースです。

①福岡博多東ライオンズクラブの今期会長に就任しました。

今期、伝統ある福岡博多東ライオンズクラブの第51代会長を拝命しました。

私は、平成21年7月14日に入会させていただきましたので、数えましたら〇九年が過ぎまして、10年目のスタートと会長就任が重なったこととなります。この9年間、数々の奉仕活動やインドネシアや台湾に訪問など色々な思い出がありますが最も記憶に残るできごとがあります。



台湾の式典で挨拶をしました

それは平成23年3月に起きた東北の大震災復興に向けた募金活動です。祝宴も中止になった暗いムードの中、新しい博多駅前緑のジャンパーと白い帽子をかぶり横断幕をかかげ大声で人々に募金を呼びかけました。最初は募金は集まるのだろうか？と不安な気持ちがありました。しかし、実際は、たくさんの方々や中学生や幼児までも近づいてきて募金をしてくれ温かい声もかけてくれました。メー

ルやインターネットが普及し対人関係が薄くなった近年ですが、心温まる、笑顔があふれ、元気をもらえ世間から信頼されたライオンズクラブに入会して本当に良かったと思えた瞬間でした。これからも地域の方々や子供たちが更に笑顔になれるような活動の一つでも多く実現できるように粘り強く頑張りたいと思いますので、明治大学校友会の皆様にも、ご理解ご協力の程、何卒宜しくお願い致します。（新会員募集中です！）



平成23年東日本大震災被災者支援街頭募金(博多駅)

②長男（高校3年生）がCDデビューしました。

私の長男が作曲活動を始め、11月に契約した音楽事務所を通じて音楽CDを発売しました。福岡の六本松TSUTAYAやKITTE博多HMV、東京渋谷と大阪梅田茶屋町と名古屋パルコのタワーレコードなどで販売好調、インターネットでも配信販売されています。詳細は「メガ シンノスケ」でインターネット検索ください。



新校友紹介

●●● Topic

株式会社ジョウジマ 代表取締役 條島 和孝 校友 (H8 文学部卒)

株式会社ジョウジマは佐賀県と福岡県を拠点に、2003年11月にグループホームを開設し、その後は多機能ホームや住宅型有料老人ホーム、デイサービスの運営へと展開し、

現在に至っております。私たちはグループホームを開設以来、一貫して認知症介護にかかわっております。「あせらず ゆっくり 一緒に暮らしましょう」をコンセプトに、



伊万里 藍鍋島
TAICHIRO KILN

〒848-0025 伊万里市大川内町大川内山
TEL 0955-22-4603 FAX 0955-22-4605

www.taichiro.net/

富永 十喜信 (昭和51年 商学部卒)



「楽しいこと」がたくさんの毎日に。



株式会社 ジョウジマ

代表取締役 條島 和孝 (平成8年 文学部卒)

ひとりひとりが地域の中で“人”とふれあい、そのひとらしく生きていただけのようにスタッフ一同、かかわらせていただいております。また、生け花や書道、散歩、体操、おやつ作りなど、ご自分のしたいことを、日々の生



活に取り入れて過ぎていただいております。また、2019年には保育事業の開設を予定しております。日本では少子化と言われながら、待機児童が数多くいるなどの問題を抱えております。そんな子どもたちが少しでも保育を受けることが出来るように、と考えております。どうぞ皆様方のご指導ご支援承れますようお願い申し上げます。

卒紫会活動報告

●●● Topic

昨年も卒紫会に、ご案内をいただいた行事全てに参加し、皆勤賞獲得しました。

その中でトピックスをご紹介します。

韓国総会（10/13開催）は、例年の如く嚴 支部長に前夜祭、総会翌日の昼食まで、校友の先輩方と一緒に手厚いおもてなしをしていただきました。

総会后、韓国父母会会長の李 会長から高級住宅街である江南（カンナム）のお店にご案内したいとお誘いを受けました。



土屋学長・今村連合父母会長・卒紫会・韓国校友を交えての食事会

怖いもの知らずの私たちは、それでもちょっとはビクビクしながら、土屋学長もお誘いしてみると、あっさりOKしてくだ

さり、連合父母会の顧問や会長、事務室の皆様と一緒に行く事になりました。李 会長が、日本語が堪能なお友達を連れてきていて、和やかに会話も弾みました。

土屋学長に、『能』のお話を、色々とお伺いできて皆で、ひとしきり感心しました。韓国料理の話題になった時、土屋学長が、少し意地悪に「日本で食べる韓国料理が一番美味しい」とおっしゃったのには、李 会長のお友達は、ムキになり反論していました。

恐れ多くも、私たちのお誘いを快諾して、時間を共有してくださる土屋学長のお人柄に、とても好感を持ちました。

11月3日開催の台湾総会にも出席しました。

台湾滞在中には、鍾 幹事長ご夫妻に、買い物に付き合っていただいたり、観光客では行けないようなメニューの無いお店でご馳走になったりと、大変お世話になりました。

「私たちは父母会OBなのに、ここまでしていただいて……」と恐縮すると「これも何かのご縁！」とにこやかに返してくださいました。本当に感謝です。

また、支部長婦人の林さんから、大濠公園能楽堂で開かれる日本舞踊の発表会（11/9開催）にご招待されました。

校友の先輩方と観覧し、林さんの艶やかな姿と舞に優雅な気分になりました。

昨年も明治大学に関わる様々な方と交流し、楽しい時間を過ごす事ができました。

「出会いは、人生の宝物」改めて、この言葉を思い出し、周りの方々から、いただいたご厚意を、少しでもお返しできるようにしたいなと思いました。

（卒紫会 井野 真寿美）



賴支部長のご婦人、林さんの華麗な舞



賴支部長夫人を囲んで県支部役員とともに

すたんどばーA

〒810-0801
福岡市博多区中洲4-1-24
TEL 092-291-0325

作野 士郎
(タイ国名：ピンヨー ワッドヤム)

(昭和41年 政経学部卒)

Mega Pharmacy

信頼と安らぎのくすりの番人

有限会社メガ メガ調剤薬局

腎・糖治療中食品を取り扱っています

女賀 信治

(平成9年 商学部卒)

日赤通り店 福岡市南区大楠2-3-18
TEL 092-526-4585 FAX 092-526-4595

高宮店 福岡市南区高宮1-9-21
Tel&Fax 092-534-6180

e-mail mega-kusuri@fukuoka.email.ne.jp
URL http://www.mega-kusuri.jp/index.html

11月10日(土)、昨年に引き続き西の会へ出席しました。今回も西区に在住の校友を中心に、総勢18名の校友が室見の老舗料亭三四郎に集まりました。



西の会は恒例行事として卓話を行っており、乾杯後に井手安美先輩を講師として、今年も明治大学の活躍等について大変素晴らしいお話がありました。

そして今回は初参加で、長崎県雲仙市で農業経営をされている永田惇先輩(S54農卒)の紹介がありました。永田先輩は現在、雲仙市の『ぼてと倶楽部』という農場の代表者として、農薬・化学肥料を50%削減した特別栽培の

ブランド米「ながさきにこまる」と「ながさきびかまる」を生産しており、エコファーマー認定を受けて環境保全型農業にも積極的に取り組んでおられるそうです。また平成10年頃まで福岡市にいらっ



しゃたそうで、当時の福岡市支部の様子など聞かせて頂き、明大OBの人脈と面倒見の良さは他にはないくらい素晴らしいと教えて頂きました。その後、佐藤洋先輩(S52商卒)による校歌斉唱と応援団エールで、今年の西の会も盛況のうちにお開きとなりました。会の最後にはお土産として、参加されたお一人お一人に永田先輩が作られたお米をお持ち帰りさせて頂きました。ありがとうございました!



西区はご存じのとおり、今年9月に九州大学が伊都キャンパスに完全移転を遂げ、若い世代を中心に人口が増加しております。これからも地元西区のため様々な世代の方たちと協力して西の会を盛り上げていきたいと思いました。

(H15政経卒 仲裕一郎)

ついに30年を迎えた平成会は今回もクーラーの効いた室内のKITTE博多9F銀座ライオンで学生時代を懐かしみながら、ハイカラなビアガーデン(ホール)を開催しました。新人の和田侑也校友(平成30年 商学部 KBCアナウンサー)の「ビールとかけまして、明治大学の皆様と解きます。その心は?会わないと(泡無いと)寂しいでしょう。乾杯!」という素晴らしい挨拶とともに会はスタートしました。巨大なビアグラスに注がれるビールを喉に流し込



みながら、美味しい食事を肴に歓談が進みました。窓際から博多の街に溶け込む夕日を眺め、福岡県中から集まった平成会の校友が交流を深めました。最後は貸切状態のエレベーターの中で大声で校歌斉唱、博多駅の目の前でエールで締めました!



カンボジア家庭料理 シェムリアップ

吉塚商店街「若桜の湯」跡 ゆの看板が目印



岡村智之(平成7年商)
森 洋平(平成17年政経)



〒812-0041 福岡県博多区吉塚1-16-14
TEL: 092-516-4442

2018年

ロスアンゼルス世界蒸留酒品評会 焼酎部門



創業明治二十六年 本格麦焼酎
西吉田酒造株式会社
福岡の地焼酎

本格麦焼酎 つくし
焙煎麦焼酎 金太郎
本格麦焼酎 釈云麦

代表取締役社長 吉田 元彦
(平成2年 政経学部卒業)

〒833-0041 福岡県筑後市大字和泉 612
TEL 0942-53-2229 <http://nishiyoshida.jp>



平成30年度福岡市地域支部年会費入金報告 御礼とお願い

平成30年度「年会費（3,000円）」納入ありがとうございました。

下記の校友170名から年会費を納入頂いております。

また、今年度、41名の個人法人から合計211,000円の支部サポーター募金を頂いております。紙面をお借りして、御礼を申し上げます。

まだお手続きがお済みでない校友がいらっしゃいますので、今回も、平成30年度の地域支部年会費「振込用紙（郵便局）」を金額未記入で同封させて頂いております。3,000円より多くの金額を頂けましたら、支部サポーター募金として、支部の活性化に役立てたいと思っております。お振り込みをお願い致します。平成31年1月18日（金）の福岡市地域支部新年交礼会、懇親会受付でも納入頂けます。

福岡県支部は本校からの助成金等で運営されておりますが、福岡市地域支部は、校友の年会費で経常費を賄い運営されております。

矢谷支部長の下で一層の地域支部活性化を目指し、新幹事一同支部活動に邁進しております。

皆様の周囲にひとりでも多くの方に参加頂きますよう、是非一言声かけていただき校友会参加、年会費納入を勧めて頂きたく、この紙面を借りてお願い致します。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【お願い】

年会費振込用紙へのお名前の記載について、入金通知が滲んでお名前が読みづらい場合がございます。お手数をお掛けしますが楷書で記入いただきますよう、宜しくお願い致します。また、会費の集計とお名前の記載には万全の注意を払っておりますが、漏れや誤記がございましたらご面倒ですが事務局まで連絡をお願い致します。

【ご案内】

福岡市地域支部の会計年度は、毎年4月から翌年3月までの1年間になります。

毎年夏号としてお届けしております、支部便り「風のふくおか」に同封の振込用紙で、多くの校友の方からは年会費を納入頂いており、その納入頂きました方々のお名前は、支部便り冬号の納入者一覧で、お知らせしております。本来は納入頂いた方々への振込用紙の同封は、避けるべき所ではございますが、封入作業上、仕訳が複雑になりますので、納入頂いた方も含め、まだ納入頂いておりません方も、あえて校友皆さま全員へ同封させて頂いております。どうか、冬号が届きましたら、ご自分のお名前を今一度、納入者一覧でご確認頂き、二重振込をなさいませんよう、会計からのお願いとお知らせです。

納入者一覧（敬称略、50音順） ※平成30年10月31日（事務局に振込連絡）現在

青木 延子	緒方 弘臣	小出 亜紀	瀬戸 敏郎	津田 恭宏	二木 清彦	細川 政春	矢谷 学
安心院 将平	岡田 光生	古賀 喜之	善 敏治	角田 喜弘	西内 伶	本田 順子	山内 計壽
麻生 昭雄	小川 弘毅	小林 文雄	惣田 生	津山 武雄	西嶋 宏治	牧原 陽一	山口 憲二
足達 行矢	尾崎 美香	小松 和夫	園田 博茂	鶴田 稔宏	野田 武雄	増井 敦章	山口 春幸
安部 榮一	尾立 光明	小柳 平八郎	高嶋 浩一郎	土井 経世	橋本 登志満	松尾 洋爾	山崎 重喜
天野 敏哉	小野 繁	斉藤 七平	高園 義郷	富永 晴子	橋本 敏夫	松原 直	山田 記義
飯草 熙	小野 淑史	斉藤 博文	高野 礼子	留川 公明	長谷川 敏夫	松山 孝義	湯浅 信孝
井手 安美	小部家 功	鷲山 陽一	高橋 昭敏	友添 真弓	花田 浩	水落 青児	葉 照子
伊東 吉之助	笠原 悠司	作野 士郎	高橋 延郎	中垣 量文	濱小路 喜伴	三角 勝信	吉田 和代
伊藤 文武	片岸 誠	佐々木 義宣	高原 眞	中倉 淳一	濱武 佳彦	溝口 正憲	吉田 繁利
伊藤 萌桂	香月 建志	貞方 道夫	高松 康祐	長坂 幸博	濱田 英夫	三井 成隆	吉田 進一
犬塚 慶彦	香月 徳子	佐藤 成	高村 和久	中島 孝芳	林 弘己	満木 浩昇	吉田 正文
井野 真寿美	加藤 茂	佐藤 洋	高山 展誉	永島 隆一	日浅 晴美	三野原 和光	吉田 幸滋
今留主 邦明	加藤 代志江	重松 智明	田籠 太郎	長 孝幸	広渡 憲明	宮川 謙一	吉本 匡克
岩崎 明弘	鐘ヶ江 哲也	清水 紘一	立木 法之	中野 正	福田 徹郎	宮原 誠一郎	渡辺 貴一郎
植木 孝史	神野 泰朗	清水 保一	立石 傳	中原 淳二	福永 英男	向川原 賢之	和田 侑也
内田 紀生	川上 巖	志牟田 敏剛	田中 勝美	中村 衛助	藤岡 壽一	森 重隆	
江藤 成人	川原 均	條島 和孝	田中 幸穂	中村 英雄	藤瀬 浩幸	森山 泰行	
王丸 傑元	城戸 武文	新開 恵戈	田中 久也	中村 淑子	藤田 一枝	森 良章	
太田 秀信	木村 和彦	鈴木 弘幸	田中 裕一郎	中村 良洋	藤野 勝也	安河内 宏	
大塚 博暉	喜代美 一之	関 順治	谷本 進	仲 裕一郎	藤 柝宣宏	安田 誠一	
岡田 勲	黒川 正道	関谷 篤弘	津島 潔	新原 範昭	藤山 隆俊	安永 富士男	

2019年 明治大学校友会 福岡市地域支部新年交礼会のご案内

2019年新春『福岡市地域支部新年交礼会』を『平和楼天神本店』にて開催いたしますのでご案内申し上げます。

最近の福岡市地域支部校友会活動は、皆様のご協力により、支部ホームページも充実し、ホームページから新しい校友が登録され、校友会行事へ多く参加されましたことはたいへん喜ばしいこととあります。

新年交礼会では、恒例となりました「新春お年玉大抽選会」も企画しております。校友の皆様の新しい出会いと親睦と交流を深める機会としてぜひ多くの皆様にご出席をお願い申し上げます。

なお、ご案内が届いていない校友をご存じでしたら、ぜひお誘い合わせの上ご出席をお願いいたします。

- 1 日 時 平成31年1月18日(金) 18:30開宴予定
2 場 所 平和楼天神本店 6階大宴会場 洋式円卓椅子席
〒810-0001 福岡市中央区天神2-6-42 TEL.092-771-4141

3 会 費 6,000円(但し、女性校友及び平成23年卒以降の校友は5,000円)

* 出欠は、同封の返信はがき・メール・ファクスにて、1月10日必着でお願いいたします。

メール申込先 official@meidai-fukuoka.jp 鈴木 弘幸(地域支部幹事長)

ファクス申込先 092-512-6511 (株) 伸 正

問い合わせ先

福岡市地域支部支部長 矢谷 学(昭50法卒) Tel.092-631-3336(三栄印刷)

または幹事長 鈴木 弘幸(昭56政経卒) Tel.092-553-0506(明大校友会福岡事務局)



2019年謹んで新年のお慶びを申し上げます。今年は亥(イノシシ)年です。

亥(イノシシ)は十二支の中でも番最後の年ですが、次の始まりに向けた新たなエネルギーを蓄える年だそうです。まさにその干支が意味するようにあと4か月で新しい元号が始まります。これまでの昭和〇年卒、平成〇年卒に加えて、再来年からは〇〇卒の校友がはいる事になり、新しい世代が加わることになります。どんな元号の卒業生が来るか楽しみです。さて、この42号は大学、校友会の記事に加えて、土屋学長やみやま市の新市長誕生など、個人の方々の活躍・活動を取り上げてみました。アジアナンバーワンをめざす学長の言葉にも期待が膨らみますし、政治や経済や地域社会などいろいろな分野で活躍している校友が多いのもうれしいですね。これからも大いに期待し、応援していきたいものです。

尚、冬号は年を跨いで発行となりますので、文中の年表記で、昨年来年などタイムラグがございますことご容赦願います。

遅くなりましたが、今回も多くの校友の皆さまに広告の提供を頂きました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。なお、この号につきましては、石迫編集長が多忙のため、急遽臨時で編集のお手伝いをさせていただきました。(本田)

編集委員長	石迫 弘久(平8文)
委 員	高野 礼子(平元法)
”	今井 葉子(平4営)
”	大島 正浩(平11営)
”	古森 則光(平17政経)
”	櫻木 慶子(平17政経)
校友会事務局	女賀 信治(平9商)
編 集 顧 問	本田 博志(昭52法)



私たちの原点である草をモチーフにしたロゴです。
大地から力強く生えていく草には、農業・緑化・
環境づくりを通じ、人々の安心・安全を願うORECの
思いが込められています。

代表取締役社長 今村健二(昭和51年 工学部卒)

草と共に生きる



株式会社オーレック <http://www.orec-jp.com>

本 社 〒834-0195 福岡県八女郡広川町日吉548-22 Tel:0943-32-5002(代) FAX:0943-32-6551